

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

1 結果概況

「内容別の主な結果」の分析

- ・「書く能力」、「問題形式」の「記述式」において、県の平均正答率を大きく上回っている。
- ・「言語についての知識・理解・技能」は、県の平均正答率との差が縮まっている。

「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均と同等のレベルの伸びを見せている。

「学力の伸びの状況」の分析

- ・上位層、中位層、下位層のいずれの層の児童も学力を伸ばしている。

○ 向上した
変化なし
▼ 低下した

2 内容別の主な結果

同一集団の 成績推移

2 内容別の主な結果

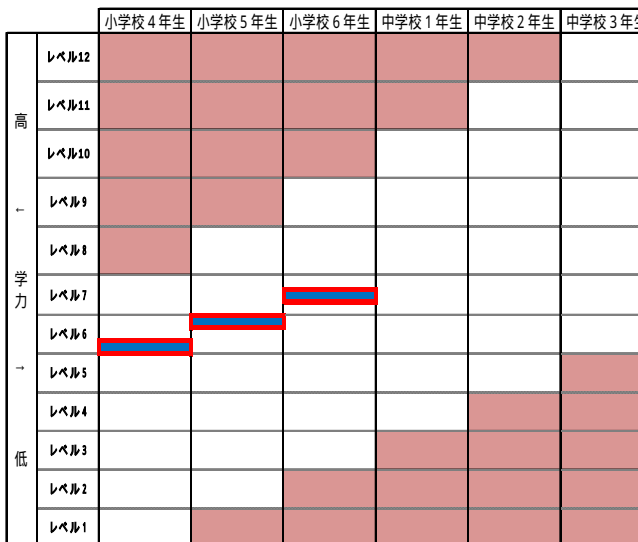
同一集団の成績推移

平成29年度 小学校4年生			平成30年度 小学校5年生			平成31年度 小学校6年生			経年変化			
学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			学力レベル・全体正答率			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
6-C	6-C	0	6-A	6-A	0	7-B	7-B	0	-0.4	▼		
67.6	67.3	0.3	58.9	58.6	0.3	62.1	62.2	-0.1	-0.4	▼		
平均正答率(%)			平均正答率(%)			平均正答率(%)			県との差の比較			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
教科の領域等	話すこと・聞くこと・書くこと	60.5	58.0	2.5	44.0	39.8	4.2	51.2	48.4	2.8	-1.4	▼
	読むこと	60.4	60.5	-0.1	53.8	53.2	0.6	65.7	65.8	-0.1	-0.7	▼
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.1	72.4	-0.3	65.0	66.0	-1.0	62.7	63.5	-0.8	0.2	○
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	話す・聞く能力	47.3	46.8	0.5	56.2	52.8	3.4	58.4	58.3	0.1	-3.3	▼
	書く能力	69.2	65.5	3.7	31.8	26.9	4.9	44.1	38.6	5.5	0.6	○
	読む能力	60.4	60.5	-0.1	53.8	53.2	0.6	65.7	65.8	-0.1	-0.7	▼
	言語についての知識・理解・技能	72.1	72.4	-0.3	65.0	66.0	-1.0	62.7	63.5	-0.8	0.2	○
問題形式	選択式	66.2	67.0	-0.8	61.5	61.6	-0.1	61.9	62.2	-0.3	-0.2	▼
	短答式	70.0	69.6	0.4	58.3	58.2	0.1	64.4	65.3	-0.9	-1.0	▼
	記述式	49.9	39.0	10.9	28.3	21.6	6.7	37.9	27.4	10.5	3.8	○

3 今までの学力の変化

草加市

埼玉県



【グラフの見方】

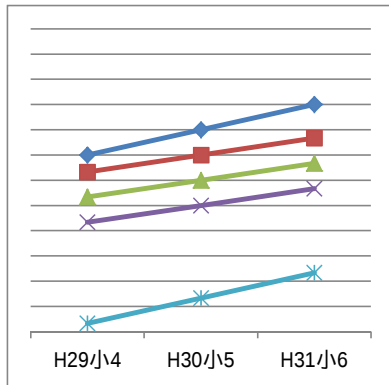
- ・ 基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ 青い線は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ 赤い線は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

【活用の仕方(例)】

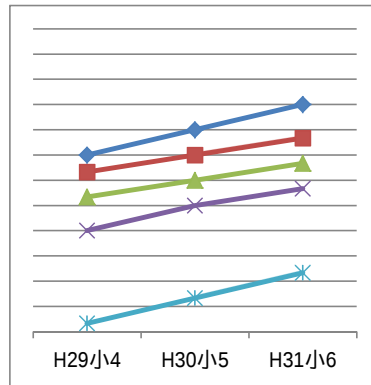
- ① 平成30年度から31年度の「学力の伸び」に着目する。
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
 - ② 平成31年度の学年ごとの学力に着目する。
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。
- ※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせ見ること、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。

4 学力の伸びの状況

草加市



埼玉県



- 最大値（最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル）
- → 75%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- ▲ → 中央値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- × → 25%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- * → 最小値（最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル）

・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 短答式 平均正答率 草加市31.1 埼玉県 36.8 差 -5.7 無解答率 5.2

問題の概要 文中の主語を書きぬく

出題の趣旨 文の構成を理解する

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市19.8 埼玉県 21.3 差 -1.5 無解答率 0.7

問題の概要 被修飾語を選択する

出題の趣旨 修飾・被修飾語の関係を理解する

「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

分析

- ・ 文中の主語の理解について、県の平均正答率との差が大きい。
- ・ 修飾語・被修飾語の関係の理解ができていない。
- ・ 選択式、短答式にかかわらず、基本的な文法事項について理解ができていない。

指導のポイント

- ・ 2年生で主語、述語をしっかり理解した上で、3、4年生では、読みやすい文章にするために主語や述語、修飾・被修飾の関係など文の成分の組み合わせに注意しながら、教科横断的に文を書かせる。